



平成11年冬季企画展



EGYPT

悠久のナイル

— 古代エジプトへの招待 —

1月23日[土]—3月22日[月]

主催=大阪府立弥生文化博物館

■監修=鈴木八司(東海大学名誉教授) ■協力=古代オリエント博物館
■後援=京大津市教育委員会/和泉市教育委員会 ■協賛=帝塚山学院大学/桃山学院大学

■開館時間:午前10時~午後5時(入館は4時30分まで)

■休館日:毎週月曜日(3月22日[月]は開館,23日[火]は休館)

■入館料:個人=一般400円・高大生300円

小中生・65歳以上・障害者手帳を持つ方は無料

団体=一般320円・高大生240円(団体は20名以上)

■所在地:〒594-0083 和泉市池上町443 TEL:0725-46-2162

■交通:JR阪和線天王寺駅から25分「信木山」駅下車徒歩7分、

南海本線「松ノ浜」駅下車徒歩20分

<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

記念講演会 2月14日[日]

時間=午後2時~4時(1時より受付) 場所=1階ホール

「ナイルの恵み—古代エジプト人の食生活」 東海大学 鈴木八司
名譽教授

特別カクテルフォーラム

最新 世界の考古学事情

時間=午後2時~4時(1時より受付) 場所=1階ホール

1月31日(日)

「中国東北の青銅文化の成立と発展」

名譽教授 秋山謙子

2月7日(日)

「ヴィラ ロマーナ ア カッツァネーロの調査—イタリアにおけるローマ時代の別荘遺跡—」

和泉市立弥生文化博物館センター 企画 中西晴人

2月21日(日)

「パレスチナ鉄器時代の交易都市 エン・ゲヴ」

※ 全席 要 予約

※本館学芸員による展示解説……毎週日曜日と祝日(午前11時~特別展示室)



大阪府立弥生文化博物館



E G Y P T

「ナイルの賜物」と称された古代エジプト。ナイル川のもたらす肥沃な土壌が、文明の源泉となったことは間違いありません。しかし、ナイルの自然を熟知して土地を切り拓き、文明の礎を築いていったのは、名も無き庶民たちだったので。今回の企画展は、エジプト王国の庶民生活を物語る品々を展示いたします。飾り気のない日常の土器、植物で編んだ容器やサンダル、お守りとして身に着けた小さな神像から、悠久のナイルを糧に日々を生きた庶民の暮らしに思いを馳せていただきたいと思います。



王朝文明を支えた庶民の文化

素焼きの土器や化粧用のパレット、そして玩具の人形。庶民の暮らしは、古代エジプトといえども変わるものではないのです。



先王朝時代の土器
【赤色研磨黒頂深鉢】
(紀元前4000年～前3500年頃)



先王朝時代の土器【彩文土器】(前3500年～前3100年頃)



分銅
(新王国時代以降)
天秤で重さを量るのに使用された。



シヤブティ(新王国時代後期)
死者の身代わりに来世で労働させるため、墓に納めた人形。

主な展示品

- ロゼッタストーン(レプリカ)
- 植物の葉で編んだサンダル
- ミイラマスク
- トメスIV世の浮彫
- 護符の神像

出品点数約250点

古代エジプト人の祈り

古代エジプト人の生活には、神、そして死後の世界が重要な意味を持っていました。彼らの精神生活を示す品々を紹介します。



スカラブ(第2中間期以降)
聖甲虫という虫の形を象ったもので、主に護符(お守り)として使われた。

